

## Mighty Checker PRO 機能要点シリーズ

### 第8回 投与量設定

マイティーチェッカーでは、投与量設定により、医療機関の実態に合わせ、警告がでないようにしたり、できるようにしたりすることが可能。

1. 医薬品の投与量を標準より多く設定し、警告がでないようにする。
2. 医薬品で標準にない病名や修飾語の追加と投与量を設定し、警告ができるようにしたり、でないようにしたりする。

#### 1. 医薬品の投与量を標準より多く設定し、警告がでないようにする

例) 高コレステロール血症の患者にリピトール錠 5mgを標準では最大20mgまで投与できるが、25mg投与しても警告がでないようにする。

<操作方法>

- ・メインメニューでチューンアップ、点検ルール変更をクリック。

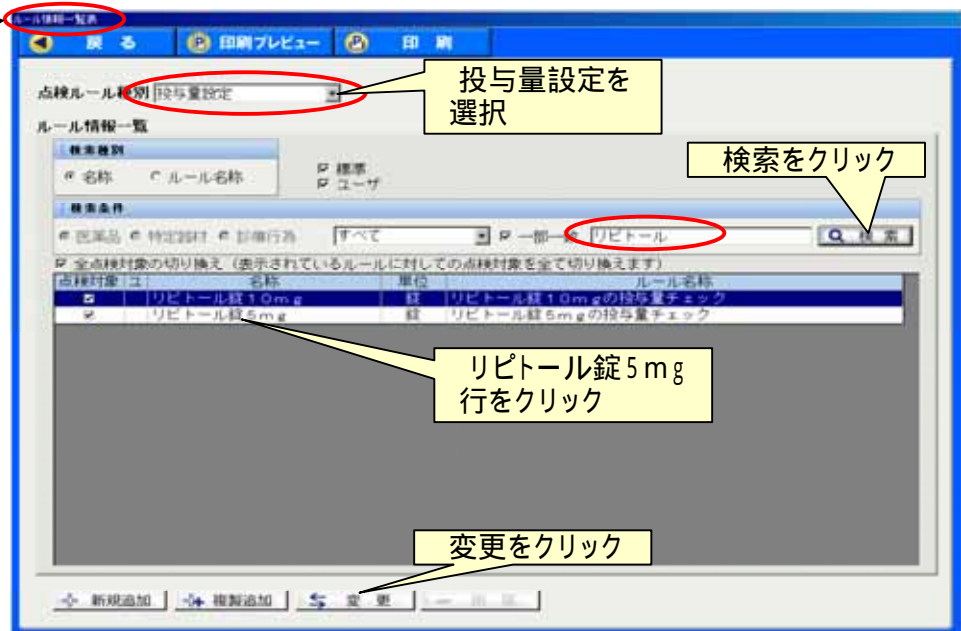
#### (1) ルール情報一覧表画面

ルール情報一覧表画面で点検ルール種別の投与量設定を選択。

検索条件欄で、リピトールと入力し、検索をクリック。

検索結果欄のリピトール錠5mg行をクリック。

変更をクリック。



#### (2) 投与量設定画面

投与量設定画面で指摘文章行の検索をクリックし、指摘文章を選択

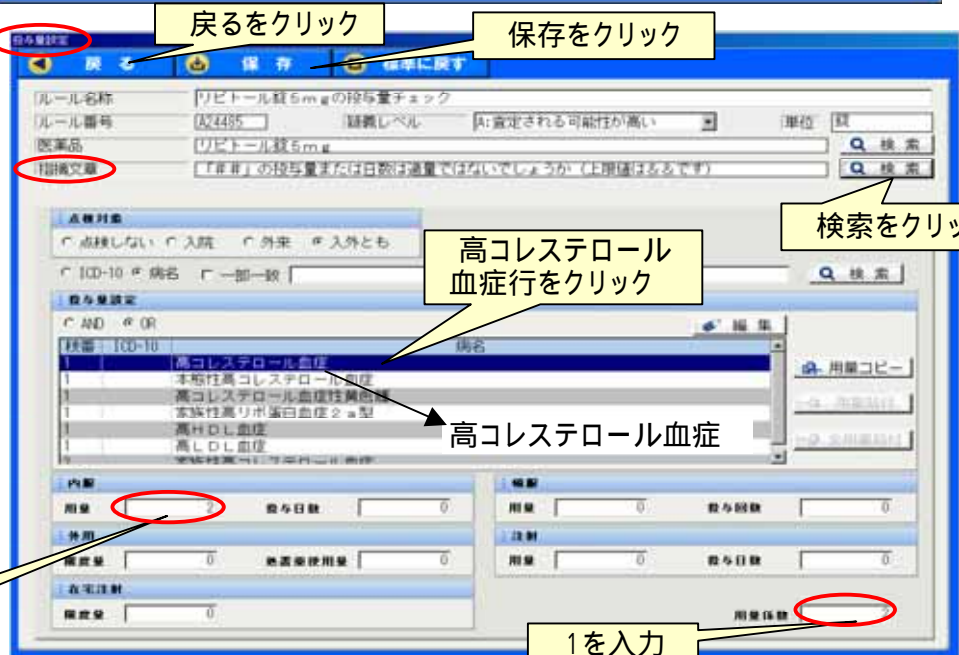
病名欄の高コレステロール血症をクリック。

内服欄の用量に5を入力。

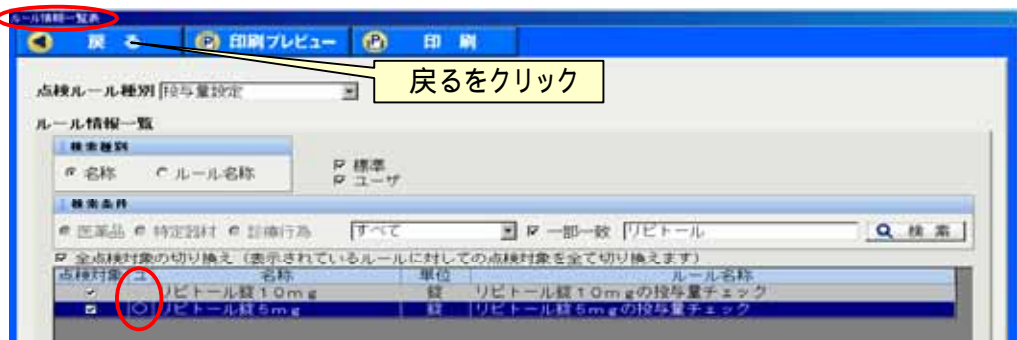
用量係数に、1を入力。

保存をクリック。

戻るをクリック。



(3) ルール情報一覧表画面  
 ルール情報一覧表画面で  
 2 欄の を確認し、  
 戻るをクリック。



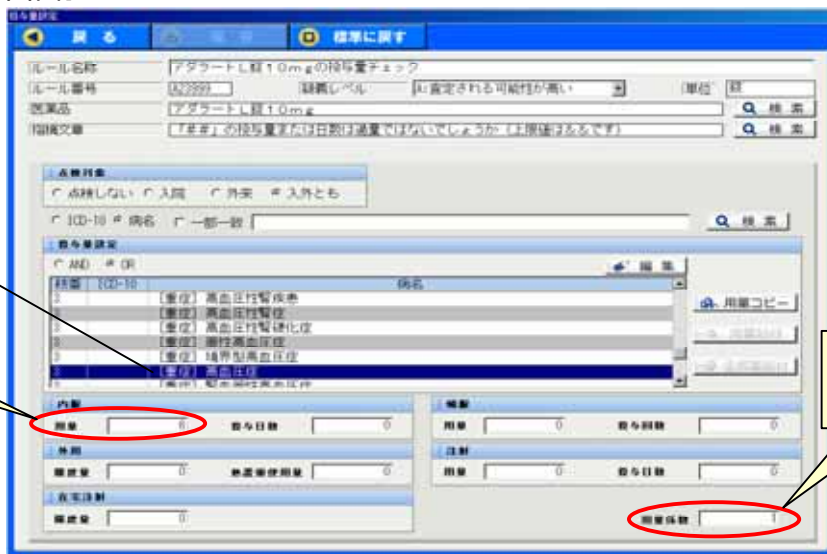
2. 医薬品で標準にない病名や修飾語の追加と投与量を設定し、警告がでるようにしたり、でないようにしたりする  
 例) アダラートL錠 10mgを高血圧症の患者に投与するが、通常は1日4錠を超えると警告がで、「重症」のときは6錠まで警告がでないようにする。

【重症用の投与量設定画面】

高血圧症を指定し、  
 編集 修飾語編集  
 をクリックし、「重症」  
 を付加する。

「重症」高血圧症

用量に6を  
 入力



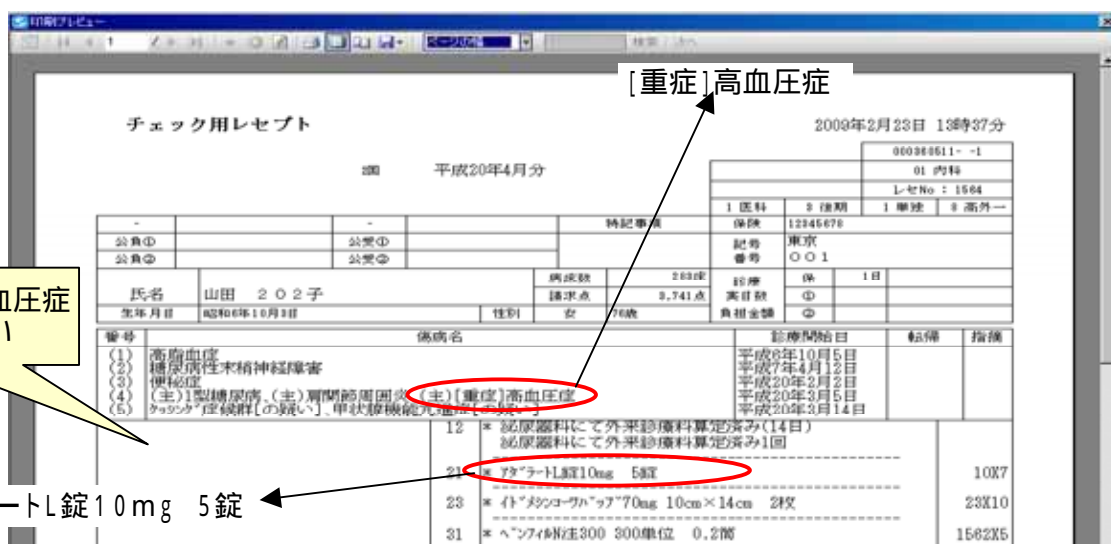
用量係数に  
 1を入力

\* 通常用の投与量設定画面は1の例と同様で、用量を4にする。

【重症高血圧症で5錠投与したときの点検結果画面】

傷病名が「重症」高血圧症  
 のとき、警告がでない

アダラートL錠 10mg 5錠



\* 通常の高血圧症で5錠投与したときは、警告がでる。